

平成23年6月30日

「栄小学校入口交差点」の事故対策が完了！！ 安全・安心度が向上しました

湯沢河川国道事務所では地域からの要望をふまえ、道路利用者や地域住民の安全・安心の向上に取り組んでいます。

今回、「栄小学校入口交差点」の事故対策が完了しましたので、①学校関係者と地域住民の方々による完了後のアンケート結果②6月1日に開催した意見交換会での内容について報告します。

〈事業経緯〉

当事故対策は、冬季の夕方から夜間にかけてスリップ事故が多発していた現状を危惧していた地域住民の方々が事故対策を要望、これを受けて地域住民・学校関係者・警察関係者と「現地の点検」～「意見交換」～「対策工法の提示」を行いながら、平成23年3月に工事が完成したものです。

〈栄小学校及び地域住民のアンケート結果〉

- 児童の7割が「安全になった」と回答
- 栄小学校教諭の10割が「安全になった」と回答
- 地域住民の約8割が「安全になった」と回答

〈6月1日の意見交換会要旨〉

- 12月に事故が1件（運転者の不注意）あったが、安全性向上を実感している。（地域住民より）
- 学校教諭、保護者からも安全性向上の声
- 13号と交差している市道側から右折する際の視認性は、道路構造改変を含めた長期的課題として検討を続けてほしい（地域住民より）

記者発表先：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社横手支局、秋田民報、県南日々新聞

問い合わせ先

湯沢河川国道事務所 湯沢国道維持出張所 湯沢市愛宕町五丁目 1-3

出張所長 松井 和彦 TEL 0187-72-1661（代表）

「栄小学校入口交差点」事故対策が完了！！

～児童たちも安心して登下校～

～アンケート結果の要旨～

- 児童の7割が「安全になった」と回答
- 地域住民の8割が「安全になった」と回答

【対策実施後】

視線誘導標



カラー舗装

注意喚起標識

縁石着色

【対策実施前】



★事業経緯

【H21】

国道13号横手市栄小学校入口交差点付近は、横手から湯沢に向かってカーブし、交差点の先が下り勾配となっており、スリップ事故などが発生していました。交差点の直近には栄小学校があり、国道の歩道を通学路として利用していることから、地域住民も危険な状態を懸念し、安全対策の要望が出されました。

【H22】

- ・地域住民代表、交通管理者、学校関係者、バス事業者と合同現地点検、意見交換会を実施しました。
- ・滑り止め舗装、視線誘導標等を設置 (H22. 11工事完)

【H23】

- ・栄小学校教諭・児童、地域住民を対象にアンケート
- ・6月1日:地域住民代表、交通管理者、学校関係者、バス事業者と意見交換会

《アンケート結果》

- ・児童の「7割」、栄小教諭は「10割」、地域住民の「8割」が安全になったと回答

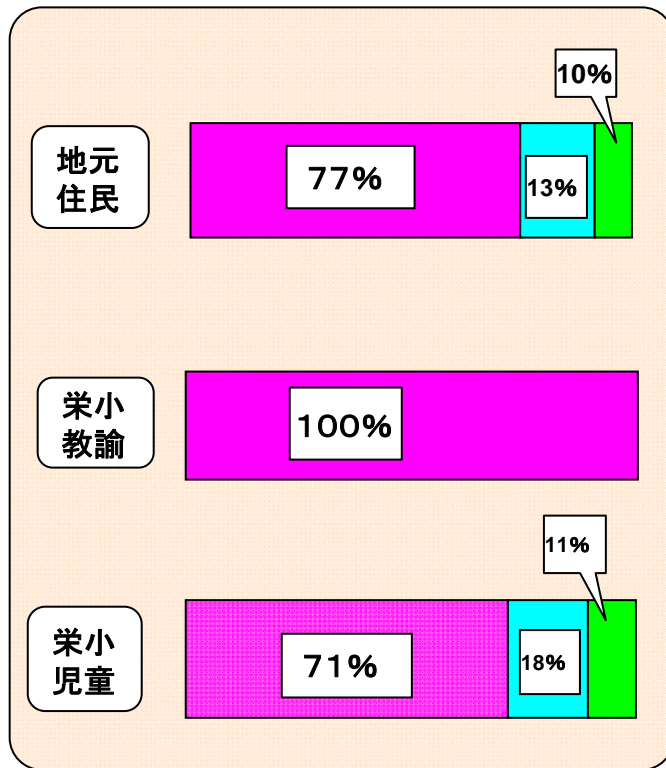
意見交換会発言抜粋

- ・H23、1月以降の豪雪時にも事故発生がゼロで、地域住民、児童の保護者も安全性の向上を実感

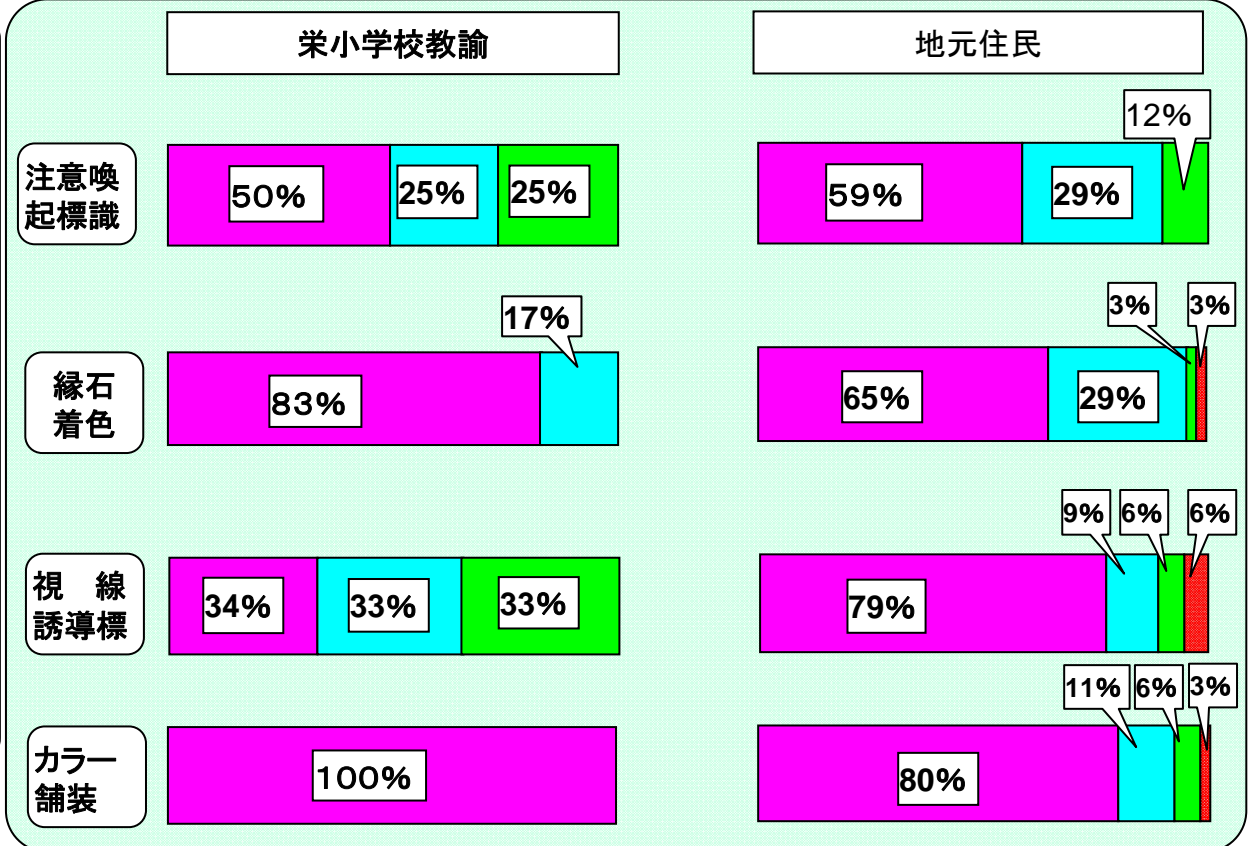
「栄小学校入口交差点」事故対策アンケート結果

■事故対策を行う前と比べて、整備後の現状についているか、安全性の変化について4段階で、お聞きしました。

■事故対策を行う前と比べて、整備後の現状についているか、安全性の変化について対策を実施した工種別に4段階で、お聞きしました。



凡例



アンケート実施：平成23年4月～5月

※児童：栄小学校児童高学年 51人

先生：栄小学校教諭 11人

地元住民：39人